

みんなで生きのびるために。

# 災害は備えあれば“憂いなし”...?

南海トラフ地震を生き抜くための道しるべ

期間：2021年7月15日(木)～7月23日(金)

時間：9:00～17:00

展示会場：延岡市役所 1F 市民ホール 〒882-0813 宮崎県延岡市東本小路 2-1

主催：九州保健福祉大学薬学部学芸員養成課程

共催：延岡市総務部危機管理課

連絡先：九州保健福祉大学薬学部 博物館学研究室 〒882-8508 宮崎県延岡市吉野町 1714-1

TEL 0982-23-5632(または 0982-23-5555<代表>) e-mail yamatosh@phoenix.ac.jp

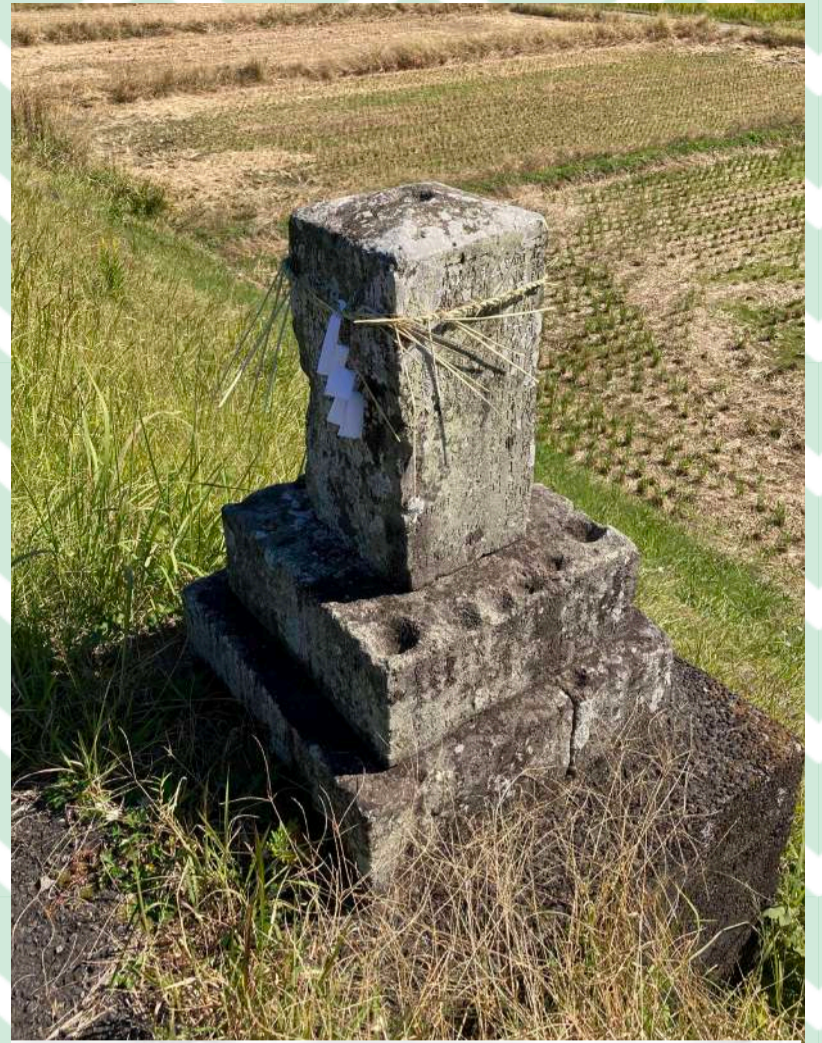
延岡市総務部危機管理課 0982-22-7077



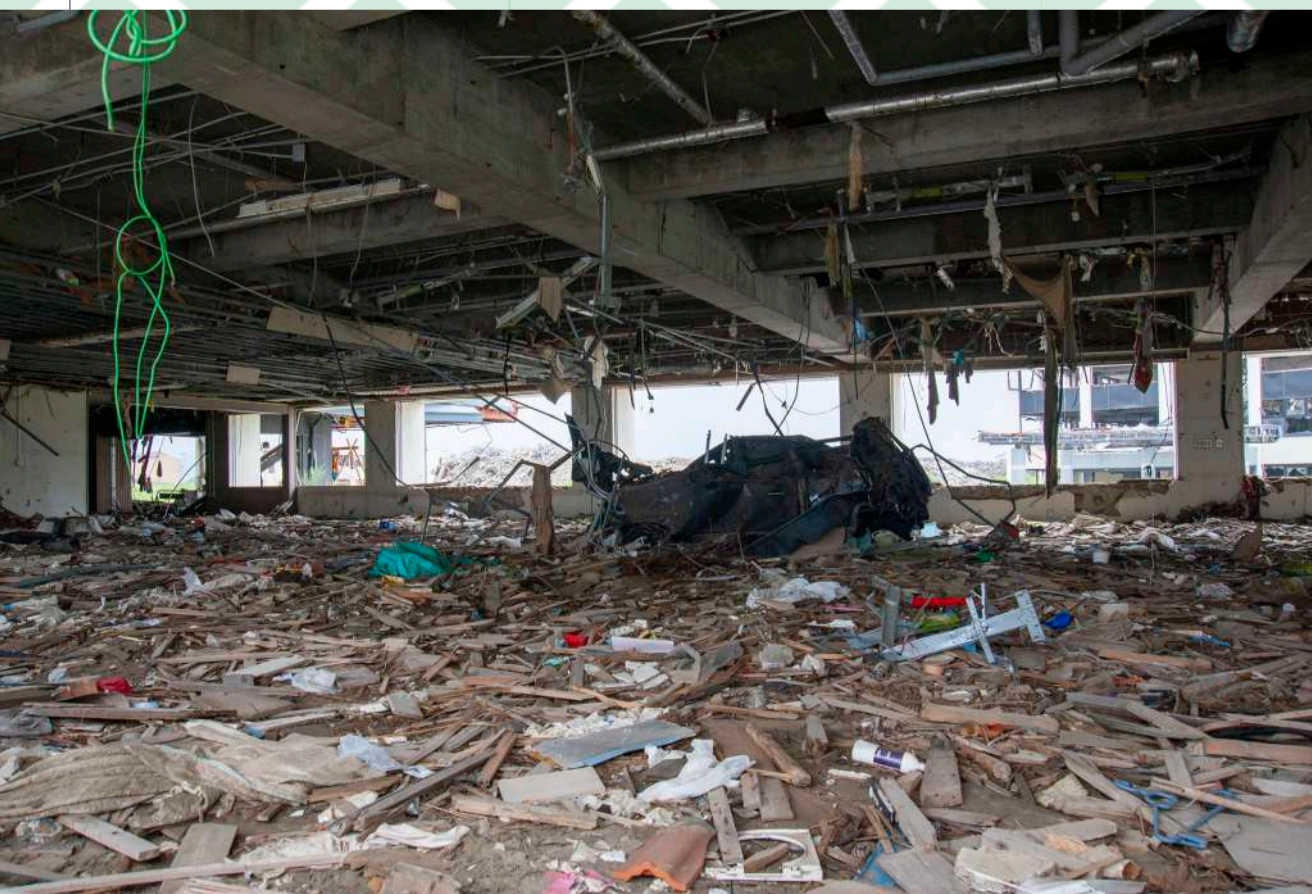
2021年。東日本大震災から10年、熊本地震から5年という節目の年を迎えました。現在も大きい小さいに関わらず日本各地でたくさんの地震が起こっています。南海トラフ地震も予測されている状況で、いつ大きな災害が起こるかわかりません。

そこで、過去の災害からの記録や経験をもとに、予測されている南海トラフ地震に向けて私たちがしなければいけないことは何なのか。また、災害が起きた際の避難方法や避難後の暮らしはどのようなものなのか。改めて災害に対する意識や理解を見直し、いつ災害に遭ったとしても適切な行動が出来るように備えておく必要があると思います。

自分や大切な人の身を守るためにも、災害が起こっても冷静に状況を判断し動けるようにしておかなければなりません。災害が起こった際にこの企画で観て・触れて・学んだことを活かしてもらえる展示を目指します。



井替川石碑(上)とひかり拓本による拓影(下)



旧陸前高田市役所庁舎(2012年8月)